

# 脂肪吸着エキス

## ■開発の経緯

蒲穂(ガマホ)は北海道から九州の日本各地や北半球の温暖な地域やオーストラリアの湿地帯、沼沢地や水中に生える大形の多年草の宿根草の植物です。神農本草経の上品に記載されており「味甘平。生池澤。治心腹膀胱寒熱。利小便。止血消才血。久服軽身。益気力。延年神仙。」と記載されています。

脂肪吸着エキス(蒲穂発酵液)は、蒲穂を発酵させることで、有用な成分が低分子し、脂肪分解、デトックスなどの作用が高まりました。



## ■表示名称

### 1. INCI

BACILLUS/MONASCUS/TYPHA ANGUSTIFOLIA FLOWER/SOYBEAN FERMENT FILTRATE

### 2. 化粧品表示名

(バチルス／ベニコウジ菌)／(ヒメガマ花／ダイズ)発酵液

### 3. 特許 第6600832号

脂肪吸着作用を呈するメチル化フラボノール誘導體

## ■作用

脂肪分解作用  
脂肪デトックス作用  
皮膚細胞の増殖

安定性 冷暗所にて2年間

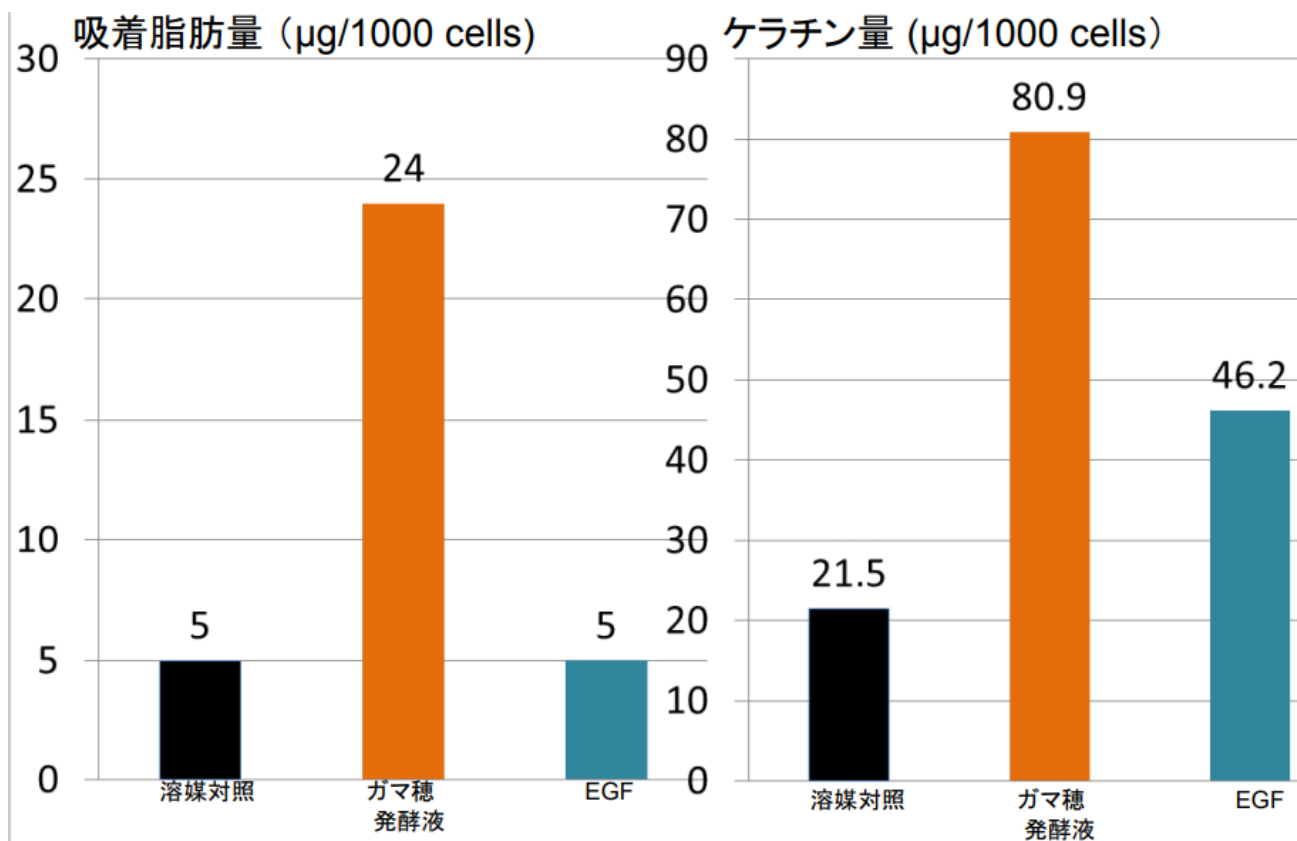
添加物 BGなどの添加物は使用していません

安全性 ヒトによるパッチ試験で安全性を確認

# 脂肪吸着エキス

## 脂肪吸着 / 皮脂の除去

### ヒト皮膚由来上皮細胞 × 脂肪添加

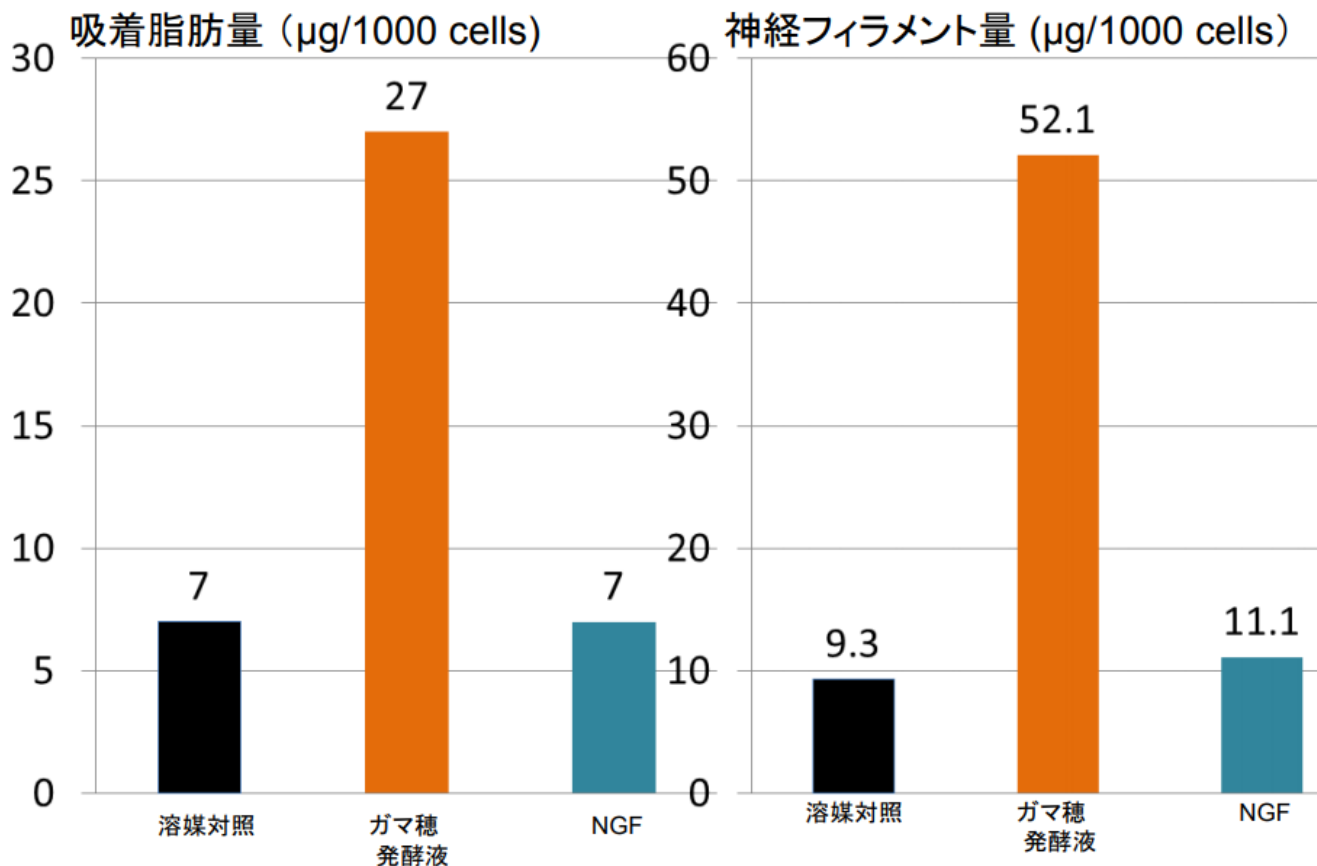


脂肪吸着エキス(ガンマ穂発酵液)は、ヒト皮膚上皮細胞の脂肪負荷に対して脂肪を吸着して排泄させた。また、ケラチンを増加させた。その働きはEGFよりも優れていた。

# 脂肪吸着エキス

## 脂肪吸着 / 皮脂の除去

### ヒト神経細胞 × 脂肪添加



脂肪吸着エキス(ガンマ穂発酵液)は、ヒト神経細胞の脂肪負荷に対して脂肪を吸着して排泄させた。また、神経フィラメント量を増加させた。その働きはNGFよりも優れていた。